



編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

地域の活性化のために 市民と企業の協働フェスタ

6月17日(土)尾張一宮駅前ビル3階シビックテラスにて「市民と企業の協働フェスタin一宮」が開催されます。第6回目です。NPOと企業の協働をテーマにしています。また、地域の福祉・医療・介護を楽しく学ぶことを目的としています。

会場では、児童養護施設の子供たちが笑顔で学校生活が送れるようにチャリティを行います。ボランティアによる手作りや菊一あられなどの協働商品を販売し、利益を施設に寄付します。また、いろいろな活動を行っている団体による踊りや演奏がステージ上で行われます。

企業やNPOの社会貢献活動のパネルなどからクイズに答えてプレゼントを得ることができます。今仙技術研究所の電動車いすの試乗や認知症テスト、脳年齢テストに取り組むことで理解が深まります。

福祉団体のバザーもあります。昔懐かしい遊びを親子で楽しむこともできます。

特別講演は、万協製薬株式会社の森下健氏です。万協製薬は、NPO法人植える美ing(相可高校生産経済科生徒)と協働して、各種スキンケア商品を開発し、販売しています。どうぞ散歩がてら足を運んでみてください。



ランドセルプロジェクト
児童養護施設の子供たちのために寄付金集め

聴覚障害者と手話サークルの人たちで、 災害時を想定した避難訓練を体験しました。

1月29日(日)一宮市尾西庁舎で、一宮市聴覚障害者協会や手話サークルなどで作っている「一宮市聴覚障害者災害対策連絡協議会」による避難訓練が行われました。

訓練の後には災害が起こった時の避難所で、聞こえない人・聞こえなくて目も見えない人が、適切な援助を受けることができるのか?援助の方法にはどんな方法があるのか?を3グループに分かれて話し合われました。皆さんの意見で避難所には、「筆談ができるよう、紙とペンをおくと便利」・「スマートフォンの音声認識機能で文字化すると便利」などたくさんの意見が出されました。また、目と耳が不自由な人に対しては、支援するのに慣れていない人だと大変だと言う声も聞かれました。

また、地域で活動している防災ボランティアの方から、家具の転倒防止についてお話しがありました。

これからもこのような避難訓練を定期的で開催し、手話等経験のない人達にも参加していただいて、支援の輪がどんどん広がるといいなと思いました。参加者は約60名でした。

